



# 平成23年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年4月6日

上場取引所 東

上場会社名 キューピー株式会社

コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進部長 (氏名) 井上 伸雄

TEL 03-3486-3331

四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年11月期第1四半期の連結業績(平成22年12月1日～平成23年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年11月期第1四半期	115,689	4.5	4,143	5.7	4,438	0.8	2,210	6.8
22年11月期第1四半期	110,720	1.6	4,393	67.6	4,475	65.5	2,370	67.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年11月期第1四半期	14.57	
22年11月期第1四半期	15.63	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年11月期第1四半期	268,197	181,755	58.6	1,035.25
22年11月期	287,957	180,901	54.2	1,029.26

(参考) 自己資本 23年11月期第1四半期 157,041百万円 22年11月期 156,134百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期		8.00		10.00	18.00
23年11月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年11月期の連結業績予想(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	237,000	2.6	11,000	6.9	11,200	7.8	5,500	11.9	36.26
通期	482,000	2.3	22,400	1.3	22,600	0.7	10,800	1.8	71.20

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年11月期1Q	155,464,515株	22年11月期	155,464,515株
期末自己株式数	23年11月期1Q	3,769,943株	22年11月期	3,768,621株
期中平均株式数(四半期累計)	23年11月期1Q	151,694,752株	22年11月期1Q	151,698,073株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1．当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2．その他の情報	3
（1）重要な子会社の異動の概要	3
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3．四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書	7
（第1四半期連結累計期間）	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）セグメント情報	9
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
（7）重要な後発事象	9
4．補足情報	10
（1）売上高のまとめ	10
（2）営業利益のまとめ	11
（3）11.11期第1四半期の営業利益増減状況	12
（4）主要な販売費・一般管理費実績	13
（5）営業外・特別損益の実績と計画、及び10.11期第1四半期対比での主な増減内容	13
（6）貸借対照表の差の主な増減内容	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に企業収益が持ち直した一方、好転の見られない雇用情勢などから個人消費が上向かない厳しい環境で推移いたしました。

食品業界においては、原資材コストが上昇する中、価格の低下傾向が継続しました。

食品物流業界においては、お取引先様の拠点の再編や物流の効率化、同業者間での競争の動きが続きました。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の状況

平成22年度からの3年間を対象とする中期経営計画における、「人材育成の充実と、グループ品質の向上」を土台とした「事業基盤の強化」と「新たな展開への挑戦」の3つの基本方針、またこれらを強力に推進するドリルの役割として位置づけた「フードサービス戦略の本格的展開」にグループが連携して取り組むことで、企業価値の一層の向上に努めました。

## ・売上高

サラダ調味料や健康訴求サラダなどが牽引したほか、物流システムでの取引先との取組み強化などにより1,156億89百万円と前年同期比49億69百万円（4.5%）の増収となりました。

## ・利益面

増収の効果やコスト低減に努めたことなどが寄与したものの、鶏卵相場の上昇などから営業利益は前年同期に比べ2億50百万円（5.7%）減の41億43百万円、経常利益が前年同期に比べ37百万円（0.8%）減の44億38百万円、四半期純利益は前年同期に比べ1億60百万円（6.8%）減の22億10百万円となりました。

セグメント別の状況

[売上高の内訳]

（単位 百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	増減（金額）	増減（比率）
調味料・加工食品	39,663	41,220	1,557	3.9%
健康機能	3,876	4,249	373	9.6%
タマゴ	19,548	21,015	1,467	7.5%
サラダ・惣菜	18,436	19,417	981	5.3%
共通	1,977	1,424	553	28.0%
物流システム	27,217	28,362	1,145	4.2%
合計	110,720	115,689	4,969	4.5%

[営業利益の内訳]

（単位 百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	増減（金額）	増減（比率）
調味料・加工食品	3,089	3,366	277	9.0%
健康機能	261	245	16	6.1%
タマゴ	1,053	678	375	35.6%
サラダ・惣菜	182	215	33	18.1%
共通	360	329	31	8.6%
物流システム	553	435	118	21.3%
調整額	1,108	1,128	20	-
合計	4,393	4,143	250	5.7%

（注）当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しており、前第1四半期連結会計期間の金額は同基準に準拠して算出しています。

調味料・加工食品

- ・加工食品は減少したが、新商品の寄与もありサラダ調味料が伸張し増収
- ・サラダ調味料の増収やコスト低減などにより増益

## 健康機能

- ・ヒアルロン酸などの医薬用素材や、介護食の「やさしい献立」が順調に拡大し増収
- ・育児食の減益が影響したが、ヒアルロン酸や流動食などは増益

## タマゴ

- ・おにぎり用卵黄ソース・エクセルエッグなどの高付加価値商品の伸張や、鶏卵相場の上昇の影響により増収
- ・鶏卵相場の上昇への売価改定のタイミングのずれの影響などから減益

## サラダ・惣菜

- ・多品種の野菜を使用したバランスサラダなどの健康訴求サラダが拡大し増収
- ・サラダの単価ダウンによる影響を、増収効果やコスト低減などで吸収し増益

## 共通

- ・その他の原料販売の縮小などにより売上高と営業利益が減少

## 物流システム

- ・既存取引先での取扱い品目・配送エリアの拡大や、新規取引先の開拓などにより増収
- ・燃料コスト上昇などにより減益も、物流拠点の見直しや保管・配送機能の効率化が進展

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、2,681億97百万円と前連結会計年度末に比べ197億60百万円減少  
主に「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」の減少、「投資有価証券」の増加による
- ・負債は、864億42百万円と前連結会計年度末に比べ206億13百万円減少  
主に「支払手形及び買掛金」、「短期借入金」および「未払法人税等」の減少、「引当金」の増加、「その他」（未払費用）の減少による
- ・純資産は、1,817億55百万円と前連結会計年度末に比べ8億54百万円増加  
主に「利益剰余金」、「その他有価証券評価差額金」の増加による

## キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、169億76百万円と前連結会計年度末に比べ161億45百万円減少

## 各キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、売上債権および仕入債務の減少、たな卸資産の増加、法人税等の支払などにより4億20百万円の支出

（前年同期は13億92百万円の収入）

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資のための支出などにより36億28百万円の支出

（前年同期は21億10百万円の支出）

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少、配当金の支払などにより119億78百万円の支出

（前年同期は68百万円の支出）

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

このたびの東日本大震災による当社グループの業績への影響が少なからず想定されますが、その影響額につきましては現在調査中であり、本年1月12日に公表いたしました業績予想を変更せずに記載しております。今後、連結業績予想に関して修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## 簡便な会計処理

重要な該当事項はありません。

## 特有の会計処理

該当事項はありません。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## 資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31

日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益および経常利益はそれぞれ4百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は219百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は388百万円であります。

「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用  
当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,604	29,718
受取手形及び売掛金	59,248	64,701
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	10,934	10,372
仕掛品	982	733
原材料及び貯蔵品	4,926	4,319
その他	5,994	5,656
貸倒引当金	353	359
流動資産合計	100,337	120,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	127,484	126,716
減価償却累計額	79,440	78,482
建物及び構築物（純額）	48,044	48,233
機械装置及び運搬具	125,653	126,661
減価償却累計額	103,772	103,827
機械装置及び運搬具（純額）	21,880	22,834
土地	40,770	40,752
建設仮勘定	3,042	2,507
その他	11,524	11,181
減価償却累計額	8,038	7,815
その他（純額）	3,486	3,366
有形固定資産合計	117,223	117,693
無形固定資産	2,236	2,315
投資その他の資産		
投資有価証券	20,457	19,495
前払年金費用	17,513	17,753
その他	11,219	11,343
貸倒引当金	790	785
投資その他の資産合計	48,400	47,806
固定資産合計	167,860	167,815
資産合計	268,197	287,957

（単位：百万円）

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,730	39,078
短期借入金	9,951	19,953
未払法人税等	2,250	5,737
引当金	4,534	2,129
資産除去債務	98	-
その他	15,974	24,848
流動負債合計	70,541	91,747
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	1,425	1,548
引当金	2,462	2,488
資産除去債務	291	-
その他	11,222	10,769
固定負債合計	15,901	15,307
負債合計	86,442	107,055
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,432	29,432
利益剰余金	110,293	109,600
自己株式	3,848	3,847
株主資本合計	159,981	159,290
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,530	1,111
繰延ヘッジ損益	6	20
為替換算調整勘定	4,463	4,247
評価・換算差額等合計	2,940	3,156
少数株主持分	24,713	24,767
純資産合計	181,755	180,901
負債純資産合計	268,197	287,957



(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	110,720	115,689
売上原価	84,198	88,301
売上総利益	26,522	27,388
販売費及び一般管理費	22,128	23,245
営業利益	4,393	4,143
営業外収益		
受取利息	50	47
受取配当金	77	107
持分法による投資利益	82	68
デリバティブ評価益	-	105
その他	80	74
営業外収益合計	290	404
営業外費用		
支払利息	89	50
為替差損	57	-
その他	61	58
営業外費用合計	208	108
経常利益	4,475	4,438
特別利益		
前期損益修正益	3	-
固定資産売却益	6	13
補助金収入	40	-
抱合せ株式消滅差益	-	74
その他	2	28
特別利益合計	52	115
特別損失		
前期損益修正損	2	-
固定資産除却損	58	204
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	214
その他	7	6
特別損失合計	68	425
税金等調整前四半期純利益	4,459	4,128
法人税等	1,821	1,737
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,391
少数株主利益	267	180
四半期純利益	2,370	2,210

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,459	4,128
減価償却費	3,041	3,100
持分法による投資損益（は益）	82	68
投資有価証券評価損益（は益）	4	-
引当金の増減額（は減少）	2,942	2,381
前払年金費用の増減額（は増加）	193	246
受取利息及び受取配当金	127	155
支払利息	89	50
固定資産除売却損益（は益）	53	191
売上債権の増減額（は増加）	1,073	5,632
たな卸資産の増減額（は増加）	1,244	1,449
仕入債務の増減額（は減少）	4,862	1,433
その他	5,689	7,367
小計	7,431	5,256
利息及び配当金の受取額	153	174
利息の支払額	122	111
法人税等の支払額	6,069	5,739
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,392</b>	<b>420</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,264	3,531
無形固定資産の取得による支出	86	85
投資有価証券の取得による支出	5	43
貸付けによる支出	270	64
貸付金の回収による収入	55	42
その他	460	54
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,110</b>	<b>3,628</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,783	344
長期借入金の返済による支出	251	10,457
少数株主からの払込みによる収入	90	-
配当金の支払額	1,441	1,517
少数株主への配当金の支払額	182	214
自己株式の取得による支出	1	1
その他	66	132
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>68</b>	<b>11,978</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>73</b>	<b>126</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	712	16,153
現金及び現金同等物の期首残高	27,831	33,121
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	205	-
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	7
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,323	16,976

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として商品・役務別に「調味料・加工食品」、「健康機能」、「タマゴ」、「サラダ・惣菜」、「共通」および「物流システム」としております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

調味料・加工食品：マヨネーズ、ドレッシング、食酢、ジャム、パスタソース、スイートコーン等

健康機能：育児食、医療食、介護食、ヒアルロン酸等

タマゴ：液卵、凍結卵、乾燥卵、タマゴスプレッド、厚焼卵、錦糸卵等

サラダ・惣菜：サラダ、惣菜、弁当、おにぎり、パッケージサラダ等

共通：食品の販売等

物流システム：食品の運送・保管等

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年12月1日至平成23年2月28日）

（単位：百万円）

	調味料・加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・惣菜	共通	物流システム	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への売上高	41,220	4,249	21,015	19,417	1,424	28,362	115,689	-	115,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,080	138	1,071	117	3,489	5,459	11,358	(11,358)	-
計	42,301	4,387	22,087	19,534	4,914	33,822	127,048	(11,358)	115,689
セグメント利益	3,366	245	678	215	329	435	5,271	(1,128)	4,143

(注) 1. セグメント利益の調整額 1,128百万円には、主として、親会社の管理部門および連結子会社ケイ・システム㈱と㈱キユーピーあいに係わる費用等である配賦不能営業費用1,150百万円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

当社グループは、このたびの東日本大震災により、東北および関東地方の工場、物流倉庫が被害を受けました。建物および設備、棚卸資産等の一部が損傷いたしました。これによる当社グループの営業活動等に及ぼす影響および修繕工事等に掛かる費用を含めた実質損害額は、現在調査中であります。

なお、東北および関東地方の工場については設備の点検作業を終え、生産機能はほぼ復旧しつつありますが、原資材や燃料の入手状況、物流の混乱、計画停電等の諸事情により、商品供給の安定化にはしばらく時間を要する見込みです。

## 4. 補足情報

注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しております。

2. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報及び業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

## (1) 売上高のまとめ

(億円)

売上高	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
09.11期	調味料・加工食品	406	474	880	440	1,320	437	1,757
	健康機能	39	45	84	43	127	46	173
	タマゴ	199	198	397	192	589	206	795
	サラダ・惣菜	199	208	407	209	616	191	807
	共通	18	17	35	18	53	18	71
	物流システム	229	228	457	230	687	233	920
	合計	1,090	1,170	2,260	1,132	3,392	1,130	4,522
10.11期	調味料・加工食品	397	457	854	431	1,285	432	1,717
	健康機能	39	44	83	46	129	49	178
	タマゴ	195	209	404	209	613	218	831
	サラダ・惣菜	184	194	378	205	583	198	781
	共通	20	17	37	16	53	14	67
	物流システム	272	282	554	291	845	292	1,137
	合計	1,107	1,202	2,309	1,199	3,508	1,202	4,710

11.11期	調味料・加工食品	412						1,770
	健康機能	42						185
	タマゴ	210						860
	サラダ・惣菜	194						810
	共通	14						55
	物流システム	284						1,140
	合計	1,157						4,820
前年差	調味料・加工食品	16						53
	健康機能	4						7
	タマゴ	15						29
	サラダ・惣菜	10						29
	共通	△6						△12
	物流システム	11						3
	合計	50						110

※11.11期通期は、2011年1月12日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

## (2) 営業利益のまとめ

(億円)

営業利益	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
09.11期	調味料・加工食品	18	38	56	46	102	36	138
	健康機能	1	3	4	2	6	0	6
	タマゴ	12	9	21	11	32	4	36
	サラダ・惣菜	0	6	6	6	12	1	13
	共通	1	1	2	2	4	0	4
	物流システム	3	6	9	5	14	8	22
	調整額(全社費用・消去)	△10	△12	△22	△10	△32	△11	△43
	合計	26	50	76	61	137	40	177
10.11期	調味料・加工食品	31	57	88	41	129	37	166
	健康機能	3	3	6	4	10	4	14
	タマゴ	11	11	22	11	33	6	39
	サラダ・惣菜	2	4	6	5	11	5	16
	共通	4	1	5	2	7	△2	5
	物流システム	6	9	15	9	24	4	28
	調整額(全社費用・消去)	△11	△13	△24	△12	△36	△10	△46
	合計	44	74	118	61	179	42	221

11.11期	調味料・加工食品	34						154
	健康機能	2						17
	タマゴ	7						47
	サラダ・惣菜	2						21
	共通	3						4
	物流システム	4						28
	調整額(全社費用・消去)	△11						△47
	合計	41						224
前年差	調味料・加工食品	3						△12
	健康機能	△0						3
	タマゴ	△4						8
	サラダ・惣菜	0						5
	共通	△0						△1
	物流システム	△1						0
	調整額(全社費用・消去)	△0						△1
	合計	△3						3

※11.11期通期は、2011年1月12日発表の計画数値を表示しております。

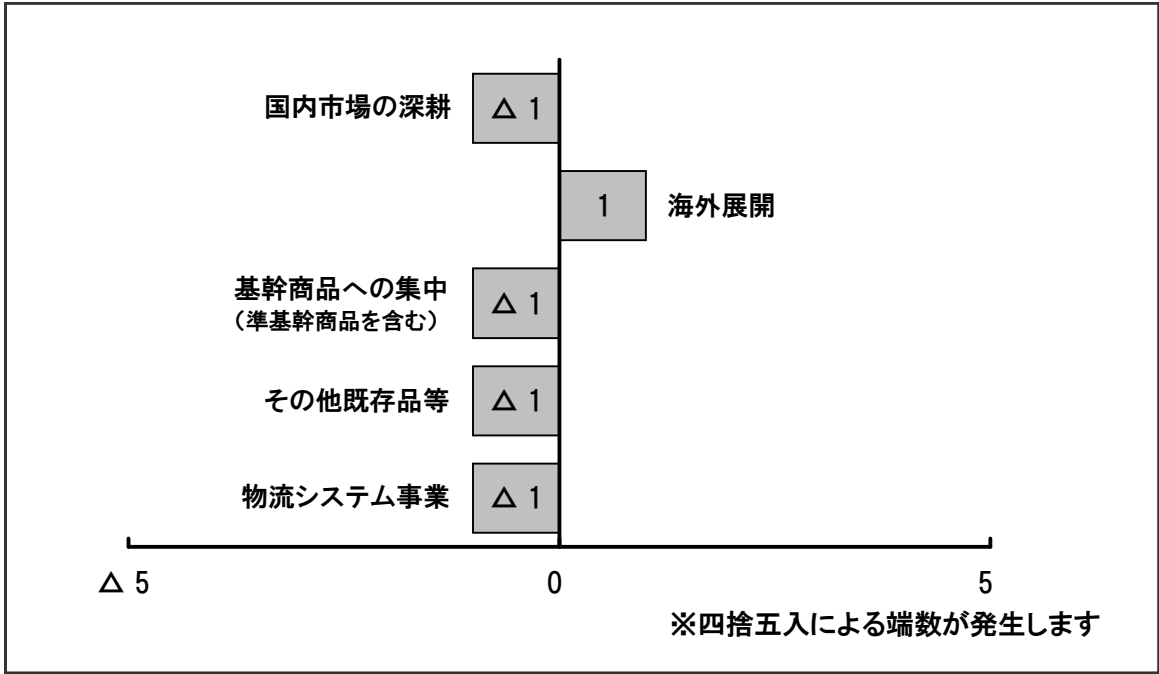
※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

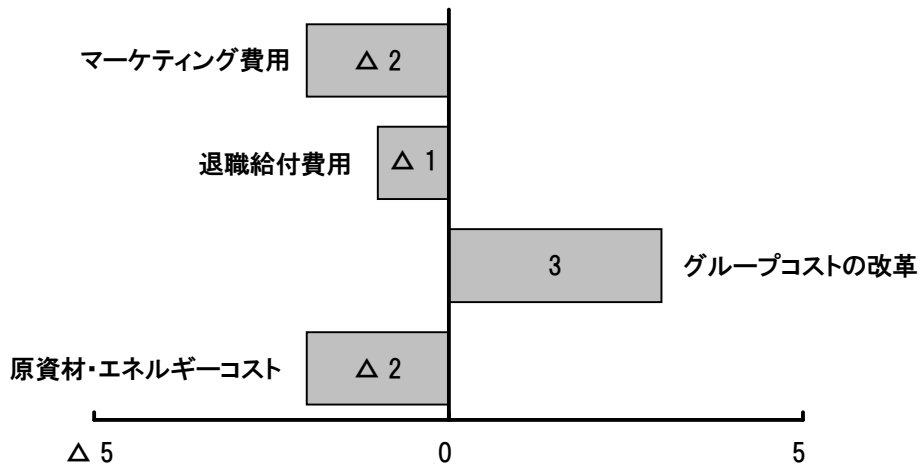
(3) 11.11期第1四半期の営業利益増減状況

(億円)

	10.11期 第1四半期	11.11期 第1四半期	前年差
営業利益	44	41	△ 3



なお、上記の営業利益に含まれる主なコストの影響は以下のとおりです



※その他の要因として鶏卵相場による影響△4億円があります  
 ※四捨五入による端数が発生します

## (4) 主要な販売費・一般管理費実績

(億円)

	10.11期 第1四半期	11.11期 第1四半期	前年差
販売促進費	42	44	2
広告宣伝費	19	19	0
物流費	60	65	5
労務費	55	58	3
研究開発費	6	7	1

## (5) 営業外・特別損益の実績と計画、及び10.11期第1四半期対比での主な増減内容

(億円)

	10.11期 第1四半期	11.11期 第1四半期	増減内容 (10.11期第1四半期と11.11期第1四半期比較)	10.11期	11.11期計画
営業外損益	1	3	デリバティブ評価益の増加 + 1 為替差損の減少 + 1	7	2
特別損益	△ 0	△ 3	資産除去債務計上損の増加 △ 2 固定資産除却損の増加 △ 1	△ 14	△ 18

## (6) 貸借対照表の差の主な増減内容

(億円)

	10.11期	11.11期 第1四半期	増減	
(資産の部)				
流動資産	1,201	1,003	△ 198	現預金の減少 △ 161 営業債権の減少 △ 55 たな卸資産の増加 14
固定資産				
有形・無形固定資産	1,200	1,195	△ 5	取得による増加 28 減価償却による減少 △ 31
投資その他の投資	478	484	6	投資有価証券の増加 10 前払年金費用の減少 △ 2
(負債の部)				
	1,071	864	△ 207	借入金の減少 △ 101 未払法人税等の減少 △ 35 引当金の増加 24 未払金の減少 △ 26 未払費用の減少 △ 63
(純資産の部)				
	1,809	1,818	9	利益剰余金の増加 7 その他有価証券評価差額金の増加 4